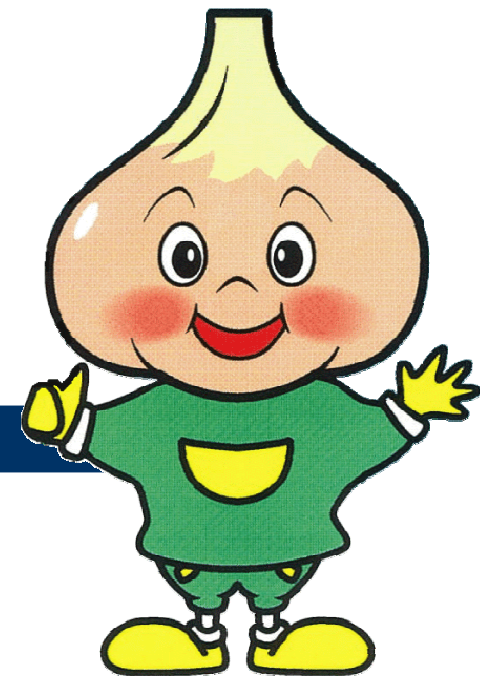


オーライ！ニッポン会議
「グリーン・ツーリズム商品コンテスト2010」
七戸にんにく里親物語

催行日

平成23年2月11日(金・祝)～12日(土)



七戸町にんにくキャラクター
「にんに君」

七戸にんにく里親物語行程表

■ 1日目

- ・集合・オリエンテーション
- ・冬のにんにく畑でオーナーになるにんにく10株を決定
- ・にんにく農作業
- ・にんにくピザ体験(おやつ)
- ・農家民泊(日帰り温泉・地元食材を使った食事)

■ 2日目

- ・冬の奥入瀬溪流をバスより見学
- ・100年以上の歴史を持つ「蔦温泉旅館」にて昼食と温泉
- ・道の駅しちのへで買い物
- ・解散



反省点① 料金設定

- 通常価格 2万1000円



- モニター価格 1万2000円

しかし、この料金の他に七戸町までの交通費が必要。
例えば東京から来られるお客様は約3万円の負担増。

- ・集合場所までの交通費も考慮。
- ・経費を抑え、単価を下げる必要がある。

反省点② PR方法

- 新聞・テレビ・ラジオのパブリシティを活用しPR
- 当協議会のWebやツイッター
- 青森県の観光サイト
- 東京にある全農あおもリアンテナショップにてチラシ配布



しかし、効果的な成果は得られず。

価格の見直しとリピーター等へのDMで参加者をなんとか増やした。

- ・ネットを含めた効果的な広告媒体をいかに探すか。
- ・商品の魅力を伝える表現の難しさ。

反省点③ 参加者の民泊への不安感

- 参加者と実際話して、初めて農家の家へ泊まる場合、不安があるという声が多かった。

しかしアンケート結果によると、農家民泊の満足度は参加者全ての方が、「とても満足した」にチェックを入れてくれました。受入れ農家にとっては、この声がやりがいに繋がる。

- ・民泊農家の情報、農家民泊の魅力も伝えるPRが必要。

モニターツアー参加者アンケートより抜粋

- スケジュール的には、詰め込みすぎず、焦ることなく過ごせたのが良かったです。
- 受入れ農家さん夫婦の人柄がとても親しみやすく、ワイン片手に語りあえ良かったです。
- 今回の食べ物について、何もかも美味しかった。
- ツアーマップの配布やスタッフとツアー客とが区別出来る名札等があればより良い素敵なツアーになると思いました。とても楽しかったです。
- 人も物も料理も体験も出会いも全てOK！有難うございました。

まとめ

今回のツアーに対する評価はよく、参加者には満足していただけたと感じており、協議会及び会員の自信になりました。今回の経験、反省点等を今後に活かし、協議会全体のレベルアップに繋がっていきたいと考えています。